

日医ニュース

2026. 9. 20 No. 1558

発行所

日本医師会
Japan Medical Association〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
電話 03-3946-2121(代)
FAX 03-3946-6295
E-mail wwwinfo@po.med.or.jp
https://www.med.or.jp/

毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



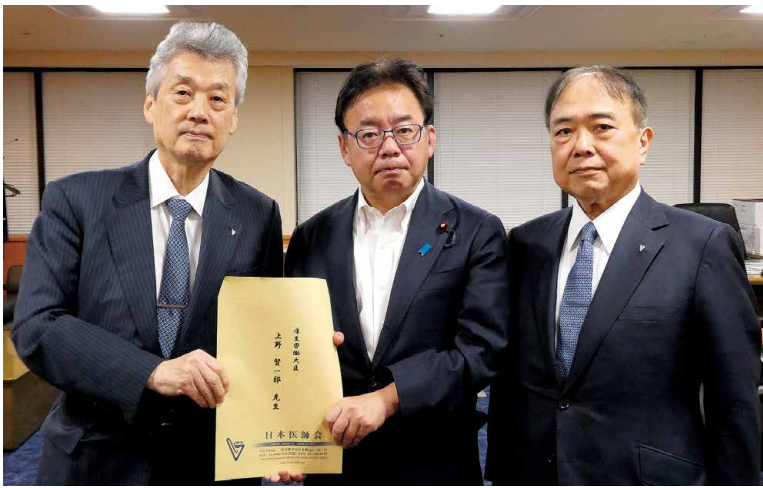
トピックス

- 熊本地震の被災地並びに千葉豪雨による被災医療機関を相次いで視察… 2面
- 「令和9年度 医療に関する税制要望」を厚労省に提出 …… 3面
- 予防接種事務のデジタル化に係る説明会 … 4面

松本会長

木原内閣官房長官、上野厚生労働大臣に
熊本地震等による被災医療機関の復旧に向けた
財政的な支援等を強く要望

熊本地震に関する要望書では、大きな被害を受けた熊本県内の多数の病院、診療所や介護施設等が被災地の地域医療、地域包括ケアシステム、かかりつけ医療機能の復旧のために、財政的な支



上野厚生労働大臣



木原内閣官房長官

援が不可欠な状況にあると指摘。その上で、復旧支援に関する補助を要請している。

また、被災医療機関はいずれも地域の医療に不可欠な存在であることから、救急医療を始めとする政策医療の要件を厳格にせず、既存補助事業を柔軟に運用することや、新規事業の創設等に対する配慮とともに、補助に当たっては、被害の大きさや被災医療機関等の負担に鑑み、公私による差を設けず、事業者負担を極力最小限に抑えることを併せて要望している。

具体的には、(一)中小企業庁と連携の上、「なりのわい再建支援補助金」の対象に医療法人を加える、または厚労省において「なりのわい再建支援補助金」に相当する補助事業を創設することにより、被災医療機関の復旧を確実に支援する、(二)独立行政法人福祉医療機構(WAM)による災害復旧資金の融資について、二重債務対策を含む特段の優遇措置を講じる、(三)被災地支援が長期化する可能性が高いため、被災地である熊本県医師会によるチームを含め、日本医師会災害医療チーム(JMAT)等の医療活動を支える災害救助法(災害救助費の支弁)の適用期間を必要に応じて延長するよう、関係府省と調整する——こと等を要求。

この他、要望書には①医療施設等災害復旧費補助金による支援(対象拡大や補助率の引き上げ等)②業務の全部または一部が停止中の医療機関や介護施設等に対する復旧のための運営費の支援③被災地での医療従事者の住居確保を含めた人員確保に対する支援④仮設診療施設等の設置・運営に係る費用の補助⑤医療機関等の復旧に必要不可欠なライフラインの復旧と強化⑥被災医療機関に適用され得る財政支援を所管する他府省と連携の上、医療機関が最適な選択をするための支援策の取りまとめと提示の補助事業の周知徹底、申請

手続きや実地調査等に関する丁寧な説明、手続きの簡素化、補助金の早期交付等への配慮——といった内容も盛り込んでいる。

一方、千葉豪雨等に関する要望書では、被災医療機関等の復旧支援について、災害廃棄物処理の所管府省への配慮の他、既存補助事業の柔軟な運用や新規事業の創設等を求めている。

上野厚生労働大臣との会談では、松本会長が熊本地震に関する要望内容を説明した上で、水足熊本県医師会会長が被災地の現状を報告した。

水足熊本県医師会会長は、現場から「地震の影響で多重債務が苦しい」「平成28年熊本地震や令和2年7月豪雨からやっと再建したところで今回の地震に見舞われ、非常に心が折れた」といった悲痛な声が上がっていることや、精神科の病院もかなり被害を受けて経営が更に苦しくなっていることなどに触れ、現場の声に対応した支援を要請。また、「ご自身の医療機関の経営が苦しいにもかかわらず、JMATとして被災地に駆け付けてくれたところもある」と述べ、そうした医療機関への補助も求めた。

続いて、松本会長が千葉豪雨についても言及。千葉市内の医療機関に相当被害が出ているとし、「水道や電気関係の設備に被害が出て稼働できない病院や浸水して医療機器等が使えなくなった診療所があるため、復旧支援をお願いしたい」と訴えた。

併せて、線状降水帯による被害に見舞われた富山県や石川県、福井県における医療機関の被害状況も報告した。

これに対し、上野厚生労働大臣は、熊本地震に関する支援について、自治体連携型補助金をベースに、なりのわい再建支援補助金と同等レベルの支援を行えるように調整しているとした他、WAMによる支援もしっかり行う姿勢を示した。

その上で、「頑張ってJMATを中心とした支援に感謝」

松本吉郎会長は8月31日、水足秀一郎熊本県医師会会長と共に、木原稔内閣官房長官並びに上野賢一郎厚生労働大臣と相次いで会談を行い、令和8年熊本地震及び令和8年8月千葉豪雨等による医療機関の被災状況を踏まえ、復旧に向けた財政的な支援等を求める2種類の要望書を提出した。

「期待に応えられるよう取り組む」

上野厚生労働大臣

木原内閣官房長官との会談では、松本会長が要望の内容を説明した上で、被災地の被災医療機関の被害状況を報告した。

水足熊本県医師会会長は、現場から「地震の影響で多重債務が苦しい」「平成28年熊本地震や令和2年7月豪雨からやっと再建したところで今回の地震に見舞われ、非常に心が折れた」といった悲痛な声が上がっていることや、精神科の病院もかなり被害を受けて経営が更に苦しくなっていることなどに触れ、現場の声に対応した支援を要請。また、「ご自身の医療機関の経営が苦しいにもかかわらず、JMATとして被災地に駆け付けてくれたところもある」と述べ、そうした医療機関への補助も求めた。

木原内閣官房長官は、熊本地震に関する支援について、自治体連携型補助金をベースに、なりのわい再建支援補助金と同等レベルの支援を行えるように調整しているとした他、WAMによる支援もしっかり行う姿勢を示した。

その上で、「頑張ってJMATを中心とした支援に感謝」

「期待に応えられるよう取り組む」

上野厚生労働大臣

木原内閣官房長官は、熊本地震に関する支援について、自治体連携型補助金をベースに、なりのわい再建支援補助金と同等レベルの支援を行えるように調整しているとした他、WAMによる支援もしっかり行う姿勢を示した。

その上で、「頑張ってJMATを中心とした支援に感謝」

第32回
日本医学会総会 2027

The 32nd General Assembly of the Japan Medical Congress 2027

学術講演会	情報交換スペース(学術展示)	市民展示
2027年 4月23日(金)～25日(日) 中之島エリア	2027年 4月22日(木)～25日(日) 中之島エリア	2027年 3月20日(土)～28日(日) うめきたエリア

メインテーマ
医学のレジリエンス～みらいへの挑戦と貢献～
人生100年時代をどう生きるか
市民展示テーマ
いのち健康みらい博2027—いのち輝く、その先へ。



事前参加登録受付中!

松本会長

熊本地震の被災地並びに
千葉豪雨による被災医療機関等を相次いで視察

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年

松本吉郎会長は8月21日、「令和8年熊本地震」被災地から2度目となる被災地視察を行うとともに、24日には「令和8年



木村熊本県知事との会談



八代地域保健医療福祉調整現地本部会議であいさつする松本会長



被災ごみの処理に難儀する榎本医院（千葉市）



山王病院（千葉市）にて説明を受ける松本会長

被災地の現状や課題について意見交換を行った他、被災地支援に取り組みJMAの医師等、医療関係者を激励するとともに、感謝の意を伝えた。

次に、若葉区みつわ台のみつわクリニックを訪ね、大山欣昭院長は、床上約50センチまで浸水し、低い位置のコンセントや電子機器本体が水に浸かったことで電気機器の大半が使用不能となり、診療できない状態になったと説明。水没した設備や医療機器の入れ替えが大きな課題となっているとのことであった。

最後に、稲毛区山王町の山王病院を訪れ、谷嶋隆之院長から説明を受けた。同院では、(1) 地

下1階の電源設備や非常用発電設備、医療物資を保管していた倉庫が完全に水没し、電気と水道の使用が現在も大きく制限されている。(2) 120名を超える入院患者の転院調整・搬送のためDMATが派遣され、14日午後4時から一部患者の転院を開始した。このことあり、院長は、患者の安全を最優先に対応を進め、24日までに入院患者の転院を完了したことを報告した。

その上で、「被災した医療機関が一日も早く診療機能を取り戻せるよう、現場の実情を国や関係行政機関にしっかりと伝えていく」と述べ、日本医師会として対応を検討していく考えを示した。

なお、日本医師会では25日に開催された第14回常任理事会において、千葉県医師会に対して当座の支援として、災害対策積立資産より見舞金を送ることを決定した。

重要なお知らせ

A②(B) 会員及びB会員の皆様へ

日本医師会ではこの度、A②(B) 会員及びB会員の皆様への定期刊行物（日医ニュース、日医雑誌、日医雑誌特別号）のご提供につきましては、原則「電子版」に移行することといたしました（会員区分は、MAMISにログインし、マイページTOPの「登録情報」からご確認ください）。

そのため、これまでどおり「紙の定期刊行物（郵送）」での受け取りを希望される方は、お手数ですがスマートフォンまたはパソコンから、以下のURLへアクセスの上、**2027年2月28日(日)までに**郵送継続のお手続きをお願いいたします。

期日までにお手続きがない場合、2027年4月からは電子版のみとなりますので、ご留意ください。

<https://forms.jmamem.med.or.jp/usrmed/01/A/reservehash/>



※なお、A①会員の皆様におかれましては、お手続きは不要となります。辞退者を除き、従来どおり紙の定期刊行物を送付いたします。

●本件に関する問い合わせ先

会員情報室 ☎ 03-3942-6482 (直) ✉ jmamem@jpn.med.or.jp

●MAMISのログイン方法

医師会会員情報システムMAMISのログインはこちら
<https://mamis.med.or.jp/login>



※MAMISのログイン方法や操作がご不明な場合、MAMIS運営事務局へお問い合わせください。

●MAMIS運営事務局

☎ 0120-110-030

※受付時間10:00～18:00(土・日・祝日を除く平日)

✉ inquiry@mamis.med.or.jp



予防接種事務のデジタル化に係る説明会 医療機関に法令上の義務はなく、 接種記録の登録のデジタル化に 可能であれば協力するとの認識を共有



予防接種事務のデジタル化に係る説明会が8月25日にWEB形式で開催され、（1）予防接種事務のデジタル化に対する法令上の義務は医療機関にない、（2）接種記録の登録のデジタル化について、医療機関は可能であれば協力する立場である——といった認識を共有した。

説明会は、笹本洋一常任理事の司会で開会。冒頭あいさつした松本吉郎会長は、今年6月に改正予防接種法が施行されたことを踏まえ、一部の自治体では予防接種事務のデジタル化が開始されていることに言及。今年度、来年度は実証的な運用が行われ、大半の自治体は令和10年度からデジタル化を行う予定である一方で、医療機関では事務負担の増加などが懸念されている点を指摘した。

その上で、「事務手続きが煩雑になり、接種を受ける方や医療機関に負担が生じ、予防接種を受けるべき方々が接種を控えてしまう、あるいは医療機関が予防接種の実施を継続することが困難になってしまうこと」は絶対に避けなければならない」と強調。地域の予防接種体制が安定的に継続されるためには、医療機関や医師会の協力が不可欠とした。

日本医師会としては、現場の負担にならないと同時に、医師会が適切に関わっていく仕組みとなるよう、繰り返し国に働き掛けてきたとした上で、「これを受けて法令の建て付けが明確化され、デジタル化の方針の再整理が行われたため、説明会を開催することになった」と説明した。

続いて、笹本常任理事が今回の説明会の趣旨を説明。今回のデジタル化で法令上の義務が生じるのは国と自治体であり、医療機関に義務が生じない点に言及。一方で、医療機関もデジタル化が義務になるとの誤解が一部で広がっていると、自治体で正しい認識を持つことの重要性を指摘するとともに、医療機関や医師会においても留意するよう求めた。

さらに、国におけるデジタル化の方針の再整理を巡っては、紙診療票による事務は変更せず、接種記録の登録の事務のみデジタル化することが基本となったとした上で、

「医療機関は可能であればデジタル化に協力する立場にあり、登録義務はないが、自治体からの依頼があった場合には可能な範囲で協力を検討してほしい」と呼び掛けた。

その後は、前田彰久厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課長らが、予防接種事務のデジタル化に係る法令の建付けや、デジタル化の方針の再整理について解説した。

質疑応答では、長島公之常任理事が日本医師会としての意見を改めて表明。医療機関はデジタル化に可能であれば協力するという点の解釈について、「可能性がなければ協力できないので、予防接種のデジタル化を一切

が煩雑になり、接種を受ける方や医療機関に負担が生じ、予防接種を受けるべき方々が接種を控えてしまう、あるいは医療機関が予防接種の実施を継続することが困難になってしまうこと」は絶対に避けなければならない」と強調。地域の予防接種体制が安定的に継続されるためには、医療機関や医師会の協力が不可欠とした。

日本医師会としては、現場の負担にならないと同時に、医師会が適切に関わっていく仕組みとなるよう、繰り返し国に働き掛けてきたとした上で、「これを受けて法令の建て付けが明確化され、デジタル化の方針の再整理が行われたため、説明会を開催することになった」と説明した。

続いて、笹本常任理事が今回の説明会の趣旨を説明。今回のデジタル化で法令上の義務が生じるのは国と自治体であり、医療機関に義務が生じない点に言及。一方で、医療機関もデジタル化が義務になるとの誤解が一部で広がっていると、自治体で正しい認識を持つことの重要性を指摘するとともに、医療機関や医師会においても留意するよう求めた。

さらに、国におけるデジタル化の方針の再整理を巡っては、紙診療票による事務は変更せず、接種記録の登録の事務のみデジタル化することが基本となったとした上で、

「医療機関は可能であればデジタル化に協力する立場にあり、登録義務はないが、自治体からの依頼があった場合には可能な範囲で協力を検討してほしい」と呼び掛けた。

その後は、前田彰久厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課長らが、予防接種事務のデジタル化に係る法令の建付けや、デジタル化の方針の再整理について解説した。

質疑応答では、長島公之常任理事が日本医師会としての意見を改めて表明。医療機関はデジタル化に可能であれば協力するという点の解釈について、「可能性がなければ協力できないので、予防接種のデジタル化を一切

最後に総括を行った池端幸彦副会長は、デジタル化された場合でも、地域の予防接種体制が安定的に継続できることが重要な認識を示した上で、予防接種のデジタル化を一切

2名の日本人フェローが研究成果を発表



行われた。報告会には、日本医師会役員、日本製薬工業協会（製薬協）、武見フェロー、日医総研の研究者らが参加した。

冒頭のあいさつで松本吉郎会長は、本プログラムについて、多様な分野においてもユニークな学際的プログラムであることを説明。その上で、長年にわたり資金援助を行う製薬協を始めとした本プログラムの支援者に対して感謝の意を述べた。

続いてあいさつした後、藤あや武見プログラム主任教授は、日本医師会と日本製薬工業協会からの支援に謝意を述べるとともに、昨年は厳しい環境下で渡米できないフェローもいる中で、5名のフェローの指導と教育・研究環境を整えたことなどを紹介。今回発表を行う日本人フェロー2名に対しては、研究成果と今後の歩みに期待を寄せた。

引き続き、アミール偉福島県立医科大学医学部放射線健康管理学講座助教が「東京電力福島第一原子力発電所事故後に発生している放射線被ばくに伴う健康影響に関する、差別・偏見・風評の調査」と題して、研究成果と今後の歩みに期待を寄せた。

続いて、山口佳小里国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部主任研究官が「在宅高齢者の介護保険サービス利用におけるCOVID-19流行の影響：全国データを基にした時系列分析」と題して報告。2016〜2023年度の全国月次データで主な在宅サービスの提供量を分析した結果、コロナ禍では通所から訪問へサービスがシフトする一方、その影響はサービスの種類により異なっていたとし、「このよう

な緊急時のアクセス確保には、サービスの応じた代替提供体制と柔軟な人材・資源配置が重要になる」と述べた。

また、ウズベキスタンで日本の制度を現地に合わせて応用した結果を基に、訪問リハビリテーションのサービス提供基準を策定した成果も紹介。今後は障害のある人の健康格差や各国のリハビリテーション提供体制に関する共同研究を進める考えを示した。

最後に濱口欣也常任理事から、2027〜2028年度の武見フェローを募集することが紹介され、報告会は終了となった。

023年度の全国月次データで主な在宅サービスの提供量を分析した結果、コロナ禍では通所から訪問へサービスがシフトする一方、その影響はサービスの種類により異なっていたとし、「このよう

な緊急時のアクセス確保には、サービスの応じた代替提供体制と柔軟な人材・資源配置が重要になる」と述べた。

また、ウズベキスタンで日本の制度を現地に合わせて応用した結果を基に、訪問リハビリテーションのサービス提供基準を策定した成果も紹介。今後は障害のある人の健康格差や各国のリハビリテーション提供体制に関する共同研究を進める考えを示した。

最後に濱口欣也常任理事から、2027〜2028年度の武見フェローを募集することが紹介され、報告会は終了となった。

論文投稿受付中！

最新情報はこちら ▶ <https://www.jmaj.jp>
論文投稿はこちら ▶ <https://mc.manuscriptcentral.com/jmaj>
問い合わせ先：JMA Journal Support Office ▶ admin@jmaj.jp
日本医師会国際課 JMA ジャーナル編集室 ▶ jmaintl@po.med.or.jp

JMA Journal 公式Xのフォローもよろしくお願いいたします。

<https://twitter.com/JmaJournal>



JMA JOURNAL

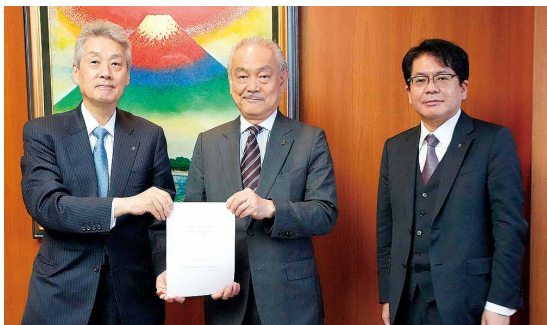
日本医師会・日本医学会発行の
英文総合医学ジャーナル

令和6・7年度 会内委員会答申・報告書

(全文は日本医師会ホームページ「メンバーズルーム」に掲載)

健康食品安全対策委員会報告書

「健康食品を適切にセルフケアに 活かすための提言」



使用するために、児童期からの教育・普及啓発が必要である、(2)医療従事者は、国民に対し適切に指導を行うことが出来るよう、生涯教育・研修等により健康食品に関する知識の更なる獲得が必要である、(3)患者からの情報収集及び医療

健康食品安全対策委員会は、会長諮問「健康食品を適切にセルフケアに活かすための提言」に対する報告書を取りまとめ、担当の藤原慶正常任理事同席の下、尾崎治夫委員長(東京都医師会会長)から松本吉郎会長に提出した。

本報告書では、「はじめに」の中で、日本医師会として、健康食品安全対策を通じた国民のヘルスリテラシー向上のために何をなすべきかという観点に立ち、検討を行った結果を、(1)健康食品に関して正しく理解し、更に安全かつ適切に

や現状についても紹介している。

「おわりに」では、尾崎委員長が、専門職には生活習慣の改善を基盤とした健康管理を前提として、健康食品、医薬部外品及びOTC医薬品を制度的な特徴に応じて整理し、利用者が適切に選択できるように支援する役割が求められると指摘。今後については、「健

外国人医療対策委員会報告書

「地域医療と 外国人医療対策について」



田昌樹委員長(兵庫県医師会会長)から松本吉郎会長に提出した。

報告書は(1)はじめに、(2)外国人医療を取り巻く現状、(3)医療通訳における諸問題、(4)ワンストップ窓口の現状と課題、(5)訪日外国人に対する医療における諸問題、(6)在留外国人に対する医療における諸問題、(7)地域における外国人医療対策の現状と課題、(8)その他、(9)三常任理事同席の下、八

いる。(2)では、在留外国人について、全国的に増加・多様化が進む一方、その内訳は地域ごとに大きく異なること、その実情に応じた体制整備を進めていくことが重要と指摘。在留資格の無い外国人に関しては、類型ごとに医療保障の仕組みが大きく異なることなどについて触れられている。

(3)では、愛知県の取り組みを例に医療通訳サービスの現状と課題について説明。(4)では、医療機関に適切に外国人患者を受け入れてもらうためには、個々の医療機関で解決できない問題に対し、医療機関に代わって365日一括して引き受ける機能を持った、いわゆる広域的な「ワンストップ窓口」を全国に数カ所設置することが必要であると指摘している。

(5)では、トラブル防止に必要なことを受付け診療・治療の段階に分けて説明している他、未収金発生時の報告制度についても紹介。救急医療においては誰が、いつ説明するのか重要として、その方法を詳説している。

また、医療インバウンドの問題にも触れ、その展開を進めるに当たっては「国民皆保険制度の堅持」「地域医療を守る」という原則に基づきと強調している。(6)では、在留外国

人のライフステージとして、子ども、妊産婦、高齢者に焦点を絞って、かかりつけ医の関わり方について考察。(7)では、北海道、東京都、大阪府で行われている取り組みを紹介している。

医業税制検討委員会答申

「医療におけるあるべき税制」



言が示されている。

「I.」では、(1)診療所は現行制度を維持しつつ、病院においては軽減税率による課税取引に改める、(2)税制による抜本的対応が実現するまでの間、高額投資によるキャッシュフローの悪化に対する税制以外の緊急対応を行う——ことを提言している。

「II.」では、認定医療法人制度について、みなし贈与税を受けないための8要件の見直しを行うべきと主張。基金拠出型法人への移行と基金の評価については、移行前の出資者が持分を基金として拠出した場合に生じるみなし配当課税を繰り延べる措置とともに、当該基金に係る相続税・贈与税の納税猶予措置を講じる。

ること、他、基金の性質に対応した評価方法を設けることを求めている。

「III.」では、設備投資関連税制に関して、医療用機器、病院等の建物・建物附属設備の特別償却制度等の拡充の他、耐用年数については実態に即した見直しを随時行うべきであると改めて主張。

また、「医療用機器特別償却制度」と「中小企業者に対する特別措置」の統合を新たに提言している。

社会保険診療報酬の所得計算の特例措置については、小規模医療機関または過疎地の医療提供体制維持のため、本制度を存続する必要があるとした上で、日本医師会に対して、日本歯科医師会とも連携し、必要に応じて実態の把握と分析を行い、来年度以降の税制改正議論に備えるべきとしている。

厚生労働省指定の医師紹介事業

医師の求人・求職は、 日本医師会ドクターバンク!

医師のライフステージやキャリアプランと、医療機関の求人条件を専任の担当者が丁寧にコーディネートいたします。

日本医師会
ドクターバンク

日本医師会ドクターバンク

TEL 03-3942-6512 URL <https://jmadbk.med.or.jp>



《日本医師会ドクターバンクの特徴》

- すべての医師・医療機関がご利用可能!
日本医師会の会員・非会員を問わずご利用いただけます。
- 地域ドクターバンクとの強力なネットワーク
都道府県医師会や行政の職業紹介事業所と連携しています。
- 年代・性別を問わず登録医師多数!
全国各地の医師と医療機関を繋ぎます。
- 登録から成立まで無料でサポート!
成功報酬もかかりません。費用を抑えた人材確保を進められます。

南から北から

茨城県
茨城県医師会報
NO.670より

ルンバ狂騒曲

柴田佐和子



診察室のベッドの下に充電ステーションを置いていたが、子どもたちは目ざとく見付け「ルンバだ」とお掃除お化けだ」と指をさしている。今どきの家庭に掃除ロボットは結構普及しているらしい。たまにお父さんお母さんとルンバ談義に「使ってる？」「最近はまだあまり……」と聞くと「うんうん、わかる」と内心思う。今日はマイナ保険証に始まり、PMH連携、電子処方箋、近い将来には予防接種事務DX化と次から次へと要求され、知識不足の身には疲れが増すばかり。AIやデジタル化の恩恵を実感できる日は来るのだろうか……。

ていた。その頃に大学生だった私は、夏休みの間、ここでプール監視員のバイトをした。これには三つの目的があった。一つ目はもちろん小遣い稼ぎ、二つ目は目の保養、そして三つ目は夏休みが明けた時、真っ黒に日焼けしたたくましい体に変身して念願の彼女をゲットすること。

主な仕事は、溺れている人やけが人などの監視と救護だ。しかし、そんな場面に遭遇することはめったになく、プールサイドを走り回ったり、危険な飛び込みをするガキ共を注意することがほとんど。たまに、水着以外の着衣で泳ぐ輩を見付けたり、注意することも仕事のひとつだった。

ある日、グラサンでシャツを着たまま遊泳中の男性を見付け、拡声器で注意を促した。初めは無視されたが、しつこく続けているうちに突然その男性は、ものすごい剣幕でプールからはい上がり、シャツを脱ぎ、びしょ濡れのそれを私に投げつけてきた。呆気に取られた私の目の前には、全身タトゥーの男性がまさしく仁王立ち。「孤狼の血LIVE2」の鈴木亮平ばりの迫力だったと思う。「わりや、貰巻きにして海に放りこんじゃるか」とその筋の常套句で凄まじいと思うが、そ

の時、既に頭の中は真っ白で、その後の記憶も無い。

当分の間、裏口からそこそ隠れて帰ったので、幸い貰巻きにされることもなく、いつしか秋の気配を感じる頃になった。当然こんがりとした日焼けしたたくましい体に変身しているはずだった。しかし、よく考えると、私のような色白で弱い肌の持ち主が、こんがり焼けるなどという器用なまねができるはずがない。バイト最終日に、バイト仲間から「胴上げからのプール逆落とし」の手荒な「別れの儀式」を受けたその夜、悪寒と高熱が出て、翌日病院に倒

れこんだ。全身火傷を合併した流行性感冒と診断され、夏休みが明けても、しばらく床に伏せたまま。やっと大学に戻れる状態になった頃、身は痩せこけ肌はポロポロで、夏休み前よりも更に貧相な体に変身していた。

イベント後の疲れ切ったキャンディーズの面々を見掛け、そんな彼女達が瞬く間に日本中を席巻するスーパーアイドルとして、その一時代を築こうとは夢にも思わなかった。そしてそんな時代も、今となってはるか遠い昔の束の間の出来事になってしまった。「おかしくって涙が出そう」だった私のひと夏の経験。

「帰りにシャーシン買ってきよ」

長谷部 日



仕事が終わるとLINEにタイトルのようなメッセージが子どもから届いていることが時々ある。シャーシンとはシャーペンシルの芯のこと

で、今時はそのように呼ぶらしい。リクエストはボールペンの替え芯だったり消しゴムだったりもする。何であれ、文房具の買い物リクエストはあまり面倒に感じない。文房具店に行くのはちょっと楽しみでもあるからだ。学生の頃の私は文房具好きだった。恐らくそういう人は多いはずだ。文

るが、それにもいろいろ指定項目がある。「シャーシン」は昔なら0・5ミリのHBで決まりだったと思うが、今はメーカーも太さも硬さも様々だ。ボールペンの芯も同様だし、ノートものも選択肢が多い。昔との違いを一番感ずるのは付箋の種類の多さだ。自分が

高校生の頃は近所の文房具店に付箋なんてあったっけ？ こんなにいろいろな付箋があれば目的に応じていろいろな使い分けができるはずだ。昔もこんなのがあったら良かったのに、と思う。

話が変わるが、皆さんは「keep」消しゴムを覚えておられるだろうか？ MONOと並ぶ往年の定番商品の一つだったと思うが、メーカーが昨夏倒産して消滅してしまっ

た。ニュースで知った時は少し残念な気分になった。さて、子どものリクエストの文房具を手にした後は文具売り場をぶらぶら眺めて楽しむのだが、自分の買い物は無い。残念ながらお父さんは今や文房具とは全く無縁の生活だからだ。朝から晩まで手にするのはシャーペンではなく、電子カルテのタブレットのペン、そしてキーボードとマウス。医師になってからしばらくは紙カルテの時代でボールペンが手放せなかったが、電子カルテが

登場すると筆記用具は無用になってしまった。

診療業務だけではなく、医局に居ても文房具を手にすることはほとんどない。ほぼPCの画面を見てキーボードを操作しているだけだ。手書きの書類が来たりするとむしろ面倒に感じてしま

い、ますます文房具と疎遠になっていく。病院内に限った話ではなく、職場でも日常生活でも、文房具を始めた「モノ」を扱う場面は随分と減ったように思う。大抵のことはPCやスマホ上、オンラインで済んでしまう。ゴミは出ないし便利なのも間違いだが、情報やコンテンツばかり相手にして「モノ」に接することがないのは時々味気なくも感じられる。

子どもたちの学校生活にも今ではタブレットが入り込んでいるが、タッチペンで手書きしたファイルをオンラインで提出するなど、主な使い方は旧来の文房具の進化したようだ。これはこれで面白いし、素晴らしい。そしてシャーシンも消しゴムも紙のノートもまだまだ健在だ。目の前に教科書や問題集を広げて、昔の自分と同じようにお気に入りの文房具で書いて消したりしながら勉強している。その姿を眺めていると、ちょっとしたやましい気がしてくる。

広島県
広島市医師会だより
NO.711より

ナタリー ひと夏の経験

佐久間 修



広島市の西の郊外に、かつて西日本一のレジャー施設があった。対岸の宮島を一望できる、当時東洋一と言われた大観覧車と、海の上を滑走するように敷設されたジェットコースターが人気で、夏ともなると、園内を一周する流水プールや実物の豪華ヨット「ナタリー

その後、朝、掃除ロボットを稼働させてみたが、始業前の20〜30分では待合室だけですら全部は掃除できない。かえって清掃中のスタッフの足

号」を設置した波乗りプールは、たくさんの家族連れや若者であふれ返っていた。その名も「ヒロシマナタリー」。開園当初、このイメージキャラクターを務めていたのは、ブレイク前の3人組アイドルグループ「キャンディーズ」だ。たまに園内のイベントにも出演し

ていた。その頃に大学生だった私は、夏休みの間、ここでプール監視員のバイトをした。これには三つの目的があった。一つ目はもちろん小遣い稼ぎ、二つ目は目の保養、そして三つ目は夏休みが明けた時、真っ黒に日焼けしたたくましい体に変身して念願の彼女をゲットすること。

主な仕事は、溺れている人やけが人などの監視と救護だ。しかし、そんな場面に遭遇することはめったになく、プールサイドを走り回ったり、危険な飛び込みをするガキ共を注意することがほとんど。たまに、水着以外の着衣で泳ぐ輩を見付けたり、注意することも仕事のひとつだった。

ある日、グラサンでシャツを着たまま遊泳中の男性を見付け、拡声器で注意を促した。初めは無視されたが、しつこく続けているうちに突然その男性は、ものすごい剣幕でプールからはい上がり、シャツを脱ぎ、びしょ濡れのそれを私に投げつけてきた。呆気に取られた私の目の前には、全身タトゥーの男性がまさしく仁王立ち。「孤狼の血LIVE2」の鈴木亮平ばりの迫力だったと思う。「わりや、貰巻きにして海に放りこんじゃるか」とその筋の常套句で凄まじいと思うが、そ

仕事が終わるとLINEにタイトルのようなメッセージが子どもから届いていることが時々ある。シャーシンとはシャーペンシルの芯のこと

で、今時はそのように呼ぶらしい。リクエストはボールペンの替え芯だったり消しゴムだったりもする。何であれ、文房具の買い物リクエストはあまり面倒に感じない。文房具店に行くのはちょっと楽しみでもあるからだ。学生の頃の私は文房具好きだった。恐らくそういう人は多いはずだ。文

るが、それにもいろいろ指定項目がある。「シャーシン」は昔なら0・5ミリのHBで決まりだったと思うが、今はメーカーも太さも硬さも様々だ。ボールペンの芯も同様だし、ノートものも選択肢が多い。昔との違いを一番感ずるのは付箋の種類の多さだ。自分が

高校生の頃は近所の文房具店に付箋なんてあったっけ？ こんなにいろいろな付箋があれば目的に応じていろいろな使い分けができるはずだ。昔もこんなのがあったら良かったのに、と思う。

話が変わるが、皆さんは「keep」消しゴムを覚えておられるだろうか？ MONOと並ぶ往年の定番商品の一つだったと思うが、メーカーが昨夏倒産して消滅してしまっ

た。ニュースで知った時は少し残念な気分になった。さて、子どものリクエストの文房具を手にした後は文具売り場をぶらぶら眺めて楽しむのだが、自分の買い物は無い。残念ながらお父さんは今や文房具とは全く無縁の生活だからだ。朝から晩まで手にするのはシャーペンではなく、電子カルテのタブレットのペン、そしてキーボードとマウス。医師になってからしばらくは紙カルテの時代でボールペンが手放せなかったが、電子カルテが

松山バレエ団「くるみ割り人形」 チケット優待のお知らせ

松山バレエ団のご厚意により、2026「くるみ割り人形」全幕／スペシャルバージョン(11/15～12/27の6公演)のチケットについて、以下の優待を実施いたします。

45年間走り続ける名作中の名作、心を締め付ける慈愛の物語。日本バレエ界のパイオニア・松山バレエ団が総出演でお贈りする、美しくロマンあふれる世界をお楽しみください。詳細はコチラ→



＜ご優待①＞各公演限定20名様にS席もしくはSS席を特別ご優待にて販売します。

※申込締切：各公演日の1カ月前まで

※申込方法：右掲の二次元コードよりお申し込みください。

申込受付後、perform2@matsuyama-ballet.comより確認のメールが届きますので、メール到着後、1週間以内にチケット代金を下記にお振り込みください(振込手数料はご負担願います)。

みずほ銀行 青山支店 普通預金 1649860 松山バレエ団公演事務局

＜ご優待②＞各公演における全席種を10%割引にて販売(11/28公演除く)します。

※残席がある限り、各公演の開演1時間前までご予約が可能です。

※申込方法：右掲の二次元コードよりお申し込みください。

ネット会員(無料)に登録の上、クーポンID【2611agp】を入力してご購入ください。24時間インターネットから座席を選択してチケットを予約することができ、セブン-イレブンの受け取りとなります。



ご優待①



ご優待②

◆問い合わせ先：松山バレエ団

Eメール：perform2@matsuyama-ballet.com

がんセミナー並びに映画の特別試写会 がん検診の受診者を 一人でも増やすことを目指して

がんセミナー並びに映画「ママがもうこの世界にいない」の特別試写会が8月23日、日本医師会館大講堂で開催された。



松本会長

今回のイベントはがんに対する知識を深めてもらうことで、がん検診の受診者を一人でも増やすことを目的として開催したもので、約3000名の応募者の中から抽選で選ばれた約300名が参加した。

冒頭あいさつした松本吉郎会長は今回のテーマであるがんについて、予防接種や検診を適宜適切な時期に受けることで防ぐことができる可能性の高い病気であることを説明するとともに、「少しでも体調に異変を感じた時に相談できるよう、か



黒瀬常任理事

引き続き、黒瀬常任理事による「女性特有のがんの予防 一次予防から三次予防まで」をテーマとしたセミナーが行われた。

同常任理事は、日本医師会初代会長でもある北里柴三郎が「国の基本は、国民の健康にあり、医学の基本は、人々が健康を保てるように生命を病気に防ぎ、病気を未然に防ぐことにある」という言葉を残していることを紹介。高市早苗内閣総理大臣も所信表明で「攻めの予防医療」を掲げているように、今後は予防医療が重要になるとした。

その上で、今回のテーマである「女性のがん」については、がん罹患数の三つに分けられ、「一

かりつけ医をもってほしい」と呼び掛けた。

里柴三郎が「国の基本は、国民の健康にあり、医学の基本は、人々が健康を保てるように生命を病気に防ぎ、病気を未然に防ぐことにある」という言葉を残していることを紹介。高市早苗内閣総理大臣も所信表明で「攻めの予防医療」を掲げているように、今後は予防医療が重要になるとした。

その上で、今回のテーマである「女性のがん」については、がん罹患数の三つに分けられ、「一

並びに死亡数などの現状を説明するとともに、「平均寿命(87.1歳)と健康寿命(75.45歳)の差を縮めていくことが大事になる」と述べた。さらに、女性特有のがんとして、(1)乳がん、(2)子宮頸がん、(3)子宮体がん、(4)卵巣がん、(5)外陰がん等に触れ、これらのがんには好発年齢があるが、ライフイベントや生活スタイルが発症に大きく関わるものであることを強調。また、その予防は「一次」「二次」「三次」の三つに分けられ、「一

案内

第169回

日本医学会シンポジウム

〔現地参加&WEB参加ハイブリッド開催〕

◆主催：日本医学会

◆日時：10月24日(土)

午後1時～5時5分

◆場所：日本医師会館大講堂

◆テーマ：AIの実臨床応用

◆定員：現地参加300名、WEB参加2000名

◆参加費：無料

◆プログラム(変更になる可能性があります)：開会のあいさつ(門脇孝日本医学会長)

・シンポジウム概説(序論)(野村恭子秋田大学大学院医学系研究科公衆衛生学教授)

1.「細胞診AI機器の開発とAIホスピタルにおける応用」(千葉知宏がん研究会有明病院細胞診断部長)

2.「AWSの展開する、医療クラウドサービスとAIアプリケーション」(今井真宏アマゾンウェ

ブサービスジャパン合同会社パブリックセクター技術統括本部シニアソリューションアーキテクト)

3.「消化器内視鏡AIの最先端」AIが見逃さ

抜いた姿を描いた作品で、あることから、多くの場面も見られた。

参加者が感動し、涙する

る整形外科AIの臨床実装と未来図：日常診療の効率化からテラレーメイ

ド医療、地域スクリーニ

ングまで(木島泰明秋田大学大学院医学系研究

科医学専攻機能展開医学

系整形外科講座講師)

6.「放射線医学領域に

おけるAI活用：胸部X

線肺がん検診におけるA

I活用の社会実装にむけ

て(藤田亮大日本印刷

株式会社メディアカルヘル

スケア本部事業企画ユニ

ットプロフェッショナル

スタッフ放射線診断専門

医)

4.「医用画像AI・生

成AIの臨床実装と今後

の展望」(森健策名古屋

大学大学院情報科学研究

科知能システム学専攻教

授・情報基盤センター長)

5.「超高齢社会を支え



日医君のぬいぐるみの販売を再開

日本医師会はこのほど、公式キャラクターである日医君のぬいぐるみ〔1体4,000円(税込)、高さ約23センチ)の販売を再開しました。

日医君のぬいぐるみに関しては一度販売を中止していましたが、「キーホルダーよりも大きいぬいぐるみを購入したい」とのご意見を多数いただいたことを踏まえ、リニューアルして販売を再開することとしたものです。ぜひ、ご活用ください。

日医君のグッズとしてはその他、立体シールなどの販売も行っておりますので、右記の二次元コードからお申し込み願います。

問い合わせ先：

日本医師会広報課 Eメール：kouhou@po.med.or.jp



申込はこちら

勤務医のページ

勤務医委員会答申(その2)

(全文は日本医師会ホームページ「メンバーズルーム」参照)

「勤務医の医師会活動へのさらなる参画について」

今号では本紙8月20日号に引き続き、勤務医委員会(委員長:一宮仁前福岡県医師会副会長)が取りまとめた答申の概要を紹介する(全文は日本医師会ホームページ「メンバーズルーム」に掲載)。

科学大学)医師会長であった水澤英洋氏を中心にした全国大学医師会連絡協議会が設立されたが、新型コロナウイルス感染症の影響で休会状態となっていた。そこで、昨年より事務局を東京医科大学医師会へ移し、本年からの活動再開に向けた準備が進められている。

日本医師会の実施した「令和7年度勤務医会員数・勤務医部会設立状況等調査」によれば、全国82医科大学・医学部のうち、69大学に大学医師会が設置され、その数は同協議会発足当時より増加している。

同協議会では引き続き新規会員を募集することにも、医師会の無い大学からのオブザーバー参加も継続する予定だが、大学医師会を今後更に発展させるには、①次世代医師が指導医と共に同協議会へ参加し、医師会や自身の将来を考える機会を設ける②大学病院勤務医や次世代医師の意見を集約し、日本医師会の政策へ反映できる場を整備すること——ことが重要である。

4. 勤務医・若手医師の役員・委員登用に向けた取り組み

過去の勤務医委員会答申では、大学医師会と都道府県医師会・日本医師会との連携の重要性が繰り返し提言されている。平成18年8月には東京医科歯科大学(現・東京

「遠い存在」であり、臨床の多忙さや参画メリットの見えにくさが入会・参画を妨げている。

この状況では、医師会運営に勤務医の意見が十分に反映されているのかどうか外部から見えない。その結果、勤務医の声が届きにくいとの認識が生じやすく、勤務医が医師会活動参画にメリットを見出しにくい状況が引き起こされている。

また、勤務医が医療政策や組織運営を学び、医師会参画が自身のキャリア形成につながることを可視化することも重要である。専門医制度・学術活動との連携、医政・経営・保険診療に関する教育の早期導入、若手登用の制度化を進めるとともに、若手医師が医師会活動を通じた医療政策へ反映する手段として認識し、主体的に参画できる環境を整備すべきである。

5. 勤務医のさらなる医師会活動参画に向けて

各地の医師会では、研修医等を対象に卒後早期から医師会の役割や活動を知する研修会・説明会の開催やSNSを活用した広報等、勤務医に医師会への関心と正しい認識を促す工夫が進められてきた。

また、勤務医が入会や継続を判断するために必要とするメリットや意義が理解できることが重要であり、先進的な地

域医師会では早期から医師会活動への参加を促し、活動意義を体感させる機会を設けている。

一方、医学部卒業後5年目以降の医師会費負担の見直しや三層構造における会費徴収の在り方等の構造的な課題も残されている。

また、日本医師会員の過半数が勤務医である現状を踏まえ、勤務医の意

日本医師会病院委員会との合同委員会での組織強化に係る意見交換

1. 合同委員会の開催経緯

第3回勤務医委員会は、初となる日本医師会病院委員会との合同委員会として開催された。議論の中では、研鑽・教育機会の減少や自己研鑽と労働の線引きの難しさ、若手医師の職業意識

見がどのように集約・反映されているのかをより分かりやすく示す必要がある。

日本医師会が主催する勤務医・若手医師向けの会は、医師会への帰属意識醸成と現場の意見を把握するための有効な機会であり、今後もこうした取り組みを一層活発に展開していくことが望まれる。

3. 合同委員会での議論を受けて

当日の委員会では、医療機関の経営を担う管理者と医療機関で働く勤務医といった立場の違いから、議論の焦点にも差異が見られた。

一方で、女性医師・若手医師に対する支援体制の必要性や医師会活動への参画を促す仕組みとして位置付けるべきとの意見、さらに勤務医が医療制度や医療経営に関する理解を深めるため、医学生や病院への入職時から教育を行う必要性も示された。今後は、各委員会でのテーマを十分に検討・整理した上で、改めて合同会議に付すことも検討したい。

それぞれの立場で組織強化に向けて変わるべきこと

医師会の更なる組織強化に向けては、組織的課題の解決に加え、医師会活動の意義や役割を医師及び国民に正しく理解してもらうことが必要である。勤務医委員会委員には、本委員会での協議内容や答申の趣旨を共有し、提言の実践に努めることが求められる。

また、病院・大学病院の管理者・幹部は、医師会が開業医の組織ではなく、地域の医療・介護・保健衛生体制が医師会と行政を中核として、開業医と勤務医の役割分担と連携によって支えられていることを正しく理解することに加えて、勤務医自身も医療政策を生産する「自分事」として捉え、主体的に医療の在

り方を考える姿勢が求められる。さらに、日本医師会には、大学病院を含む病院や勤務医の課題解決に一層取り組むとともに、医師会が関与した政策成果を積極的に社会へ発信することが求められる。医師会が「医療を担う公共的組織、社会貢献組織」として認識され、所属することにより誇りをもてる組織となれば、自ずと組織強化は進むものと考ええる。

3. 病院管理者・大学幹部の理解向上に向けた取り組み

(1) 病院管理者・大学幹部との交流会、病院訪問等

勤務医の医師会活動参画を促進するには、病院管理者や大学幹部の理解と協力が不可欠であるが、各地域医師会では、病院管理者や大学幹部との意見交換会等を通じて、医師会活動の成果や地域医療への貢献を共有し、信頼関係を構築してきた事例が報告されている。

なかでも、大分県医師会では、大学(大分大学医学部・附属病院)と行政(大分県福祉保健部)と

～税優遇を活かして老後への備え～

国民年金基金

国民年金(老齢基礎年金)に上乗せする
終身を基本とする「公的な年金制度」です。

ポイント
3つの
税制メリット

- 掛金全額が社会保険料控除の対象
- 受け取る年金は公的年金等控除が適用
- 遺族一時金は全額非課税

—不確実な将来に、今、備える—

ご加入条件

- 20歳以上60歳未満の国民年金第1号被保険者の方
 - 60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方
- ※主に、個人立診療所の医師・従業員・ご家族などとなります。
※日本医師会年金(医師年金)に加入している方もご加入できます。



全国国民年金基金

日本医師・従業員支部

☎0120-700-650

HP上でも資料のご請求・
シミュレーション・加入申出
のお手続きができます!



日本医師・従業員支部は、「日本医師会」を設立母体とする日本医師・従業員国民年金基金が移行した医師・医療従事者のための職能型支部です。